

不登校対策支援プラン

プランの策定にあたって

更新日 4 月 1 日

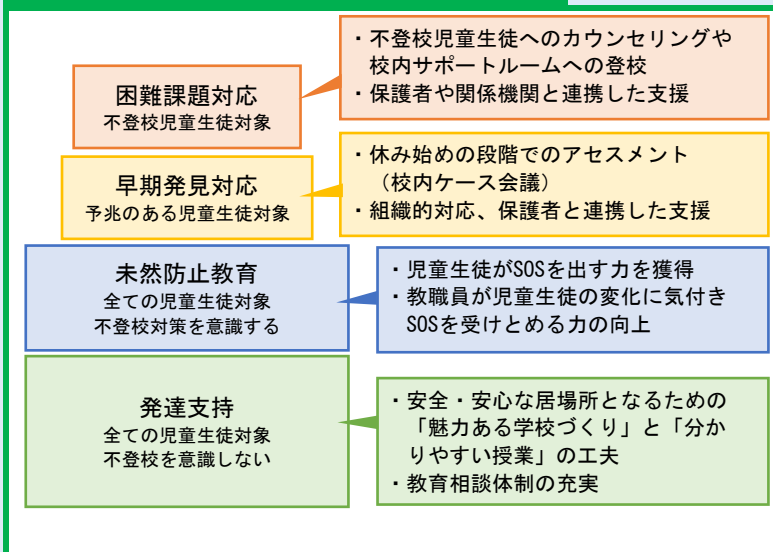
県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 不登校生徒及び保護者への継続支援と関係機関との連携体制の構築及び将来を見据えた適切な情報提供
- 2 未然防止のための取組及び予兆の見られる生徒の早期発見と個別の支援体制づくり
- 3 学校、家庭、関係機関が連携協力し、生徒がどのような支援を必要としているのかを見極め、適切な支援と多様な学習の機会を提供する

不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



不登校対策チーム構成

管理職、生活指導、特別支援教育コーディネーター、不登校支援担当教員、不登校支援員、各担任、養護教諭、部活動顧問、スクールカウンセラー

不登校児童生徒支援関係機関等

宍粟市立教育支援センター、しろう学校サポートチーム（ソーシャルワーカー）、家庭児童相談室、医療機関等

4つの層での取組 等

発達支持

- 多様なニーズに応えるユニバーサルデザインの視点を考慮した環境作り。
- 活躍の場があり自己有用感を感じることができる場面づくり。
- 安心して過ごせる居心地の良い学級 ・ ストレスマネジメントやレジデンストレーニングの実施。

未然防止教育

- 生徒がSOSを出せる教師との信頼関係構築。温かい言葉かけや賞賛。
- 日常の生徒観察（休み時間、学習意欲等）。談話や個人の日誌の中から、本人や級友の様子を知る。 ・ QUアンケート、いじめアンケートの実施。

早期発見対応

- 生活ノートの活用、定期的な二者面談の実施。
- 気になる生徒への個別の声かけ、教師間、保護者との連携。（ケース会議の実施）
- スクールカウンセラーにつなぐ。

困難課題対応

- サポートルームでの個別対応、学力保障のための手立て。（ICTの活用等）
- スクールカウンセラー、教育支援センター、サポートチーム等、関係機関との連携。
- 行事等参加方法の工夫。